



幼児活動研究会株式会社



中間ビジネスレポート

2019年4月1日～2019年9月30日

経営理念

お客様に喜ばれて、社員も喜ばせる
私たちの事業に関わるすべての方々の幸せを願って
そんな気持ちを、この経営理念に込めています

株主の皆様へ

平素は格別のご愛顧にあずかり厚く御礼申し上げます。
当社の第48期第2四半期累計期間（2019年4月1日から
2019年9月30日まで）の業績につきまして、ご報告申し上
げます。

第48期は“人を喜ばすを社風とする”“人間として正しい
かどうかで仕事をする”この二つの柱を羅針盤、座標軸とし、
全社員心と力を合わせて全力を尽くし、幼児体育指導、
幼児教育を中心に事業拡大に努めました。当社の指
標としています正課体育指導契約件数は1,168園、ス
ポーツクラブ等に参加する会員数は、63,883人となりました。

その結果、第48期第2四半期における当社の業績は、売
上高3,364百万円（前年同四半期比21%増）、経常利益562
百万円（前年同四半期比2.6%増）、四半期純利益367百万
円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

第48期の通期業績につきましては、既に公表している
業績予想を達成できるよう邁進いたします。株主の皆様におかれましては、
今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月



幼児活動研究会株式会社
代表取締役社長 **山下孝一**

会社概要・株式情報 (2019年9月30日現在)

会社概要

会社名 幼児活動研究会株式会社
本社住所 東京都品川区西五反田二丁目11番17号
設立 昭和47年(1972年)9月
資本金 5億1,336万円
代表者 代表取締役社長 山下 孝一
従業員数 571名
事業所 北海道、青森、山形、宮城、福島、栃木、群馬、新潟、埼玉、
千葉、東京、神奈川、静岡、山梨、愛知、富山、石川、福井、
長野、京都、奈良、大阪、兵庫、和歌山、広島、愛媛、福岡、
長崎、鹿児島、沖縄

役員

代表取締役 山下 孝一	取締役(社外) 大野 俊一
専務取締役 広田 照彰	常勤監査役 川口 弘之
取締役 川田 伸	監査役(社外) 山寄 正俊
取締役 久賀 満雄	監査役(社外) 曲渕 博史
取締役 山下 明子	

株式の状況

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式総数 11,784,000株
(自己株181,364株を含む)
株主総数 1,579名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社山善	3,962,000	34.15
山下明子	1,728,960	14.90
株式会社光通信	1,324,800	11.42
コスモ従業員持株会	656,800	5.66
山下孝一	344,560	2.97
日本トラステイ・サービス信託銀行株式会社	298,600	2.57
藍澤證券株式会社	208,000	1.79
東京中小企業投資育成株式会社	200,000	1.72
広田照影	193,600	1.67
株式会社SBI証券	180,381	1.55

(注)上記大株主の状況欄には、当社が保有する自己
株式を除いております。当社は、自己株式を
181,364株所有しており、発行済株式総数に
に対する割合は1.54%であります。

当社ホームページにて、決算情報や
各種IR資料などをご覧いただけます。

URL <http://www.youji.co.jp/contents/ir/index.html>

幼児活動 IR 検索

2020年東京オリンピックに向けて
弊社が未来事業として貢献できること！

幼児活動研究会株式会社
COSMO SPORTS CLUB

女子ラグビー東京山九フェニックスを
応援しています

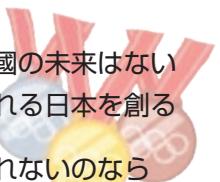
子供がよくなれば 日本がよくなる
日本がよくなれば 世界がよくなる
私たちがよくする

日本の教育を変える
幼児体育から日本を再生する



子供は未来の宝もの

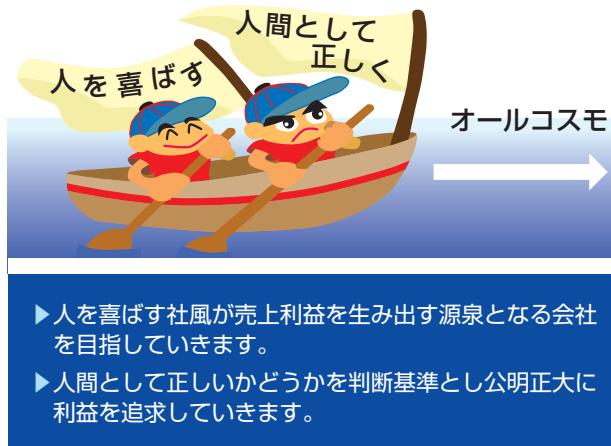
子供に未来がなければその國の未来はない
子供の未来に責任を持ち誇れる日本を創る



今の時代が理想を夢を語れないのなら
子供たちが夢を語れる社会に私たちがする

事業の概要

当社は、幼児体育指導関連事業と、コンサルティング関連事業を手掛けております。



- ▶ 人を喜ばす社風が売上利益を生み出す源泉となる会社を目指していきます。
- ▶ 人間として正しいかどうかを判断基準とし公明正大に利益を追求していきます。



幼児体育指導関連事業

▶ 正課体育指導 幼稚園・保育園・こども園の発展を願って
当社の創業の原点である正課体育指導では、従業員が体操の先生として幼稚園・保育園・こども園に赴き、保育時間内（正課）に行われる体育の授業を受けもちます。それぞれの園を特色づけるカリキュラムは、保護者が園を選別する際の重要なポイントになります。



子供たちの成長を願って

▶ 課外体育指導
伸び盛りの子供たちは、体育の授業（正課）だけでなく、さらに身体を動かす場を求めます。保育時間終了後（課外）に園の施設を借用して、当社が展開するスポーツクラブ・サッカーカラブ・新体操クラブは、子供たちの欲求を満たすべく様々なカリキュラムを用意しています。



▶ イベント企画
はじめての経験が与える深い感動を
人格の基本を形成づけるこの時期、普段慣れ親しんだ園の施設を飛び出し、自然や外の世界に触ることで、子供たちの好奇心や感受性はますます研ぎ澄まされていきます。当社が企画するイベントは、子供たち主体の団体行動を通じ、自発力や協調性を育むことにも有効です。



▶ 保育事業・次世代プロジェクト
ひとりでも多くの子供たちに、私たちのサービスを
認証保育所や次世代プロジェクトの運営を通じて、当社が長い年月をかけて築き上げた実績と経験を、これらの施設に通う地域のお客さまに対して直接展開しております。



コンサルティング関連事業

幼稚園・保育園・こども園のさらなる発展を願って

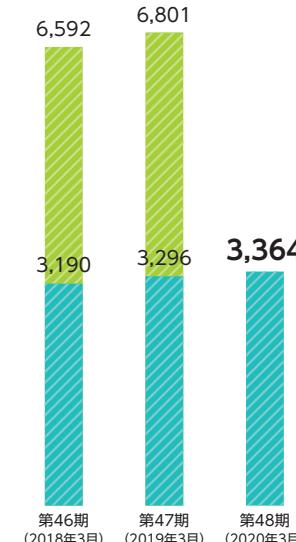
保育から、経営までを総合的に支援するコンサルティング関連事業は、全国の幼稚園・保育園・こども園を数多く知り尽くしたベテラン社員が、園のモチベーションや技量を高めるべく数々のプランやアドバイスを提供しております。



財務ハイライト

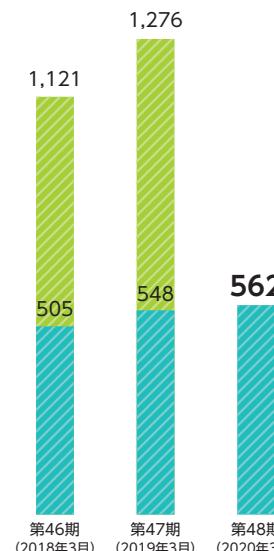
売上高

(百万円)
■ 第2四半期 ■ 通期



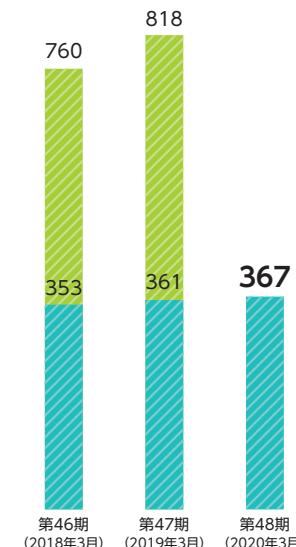
経常利益

(百万円)
■ 第2四半期 ■ 通期



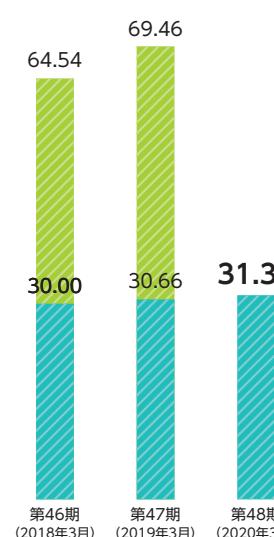
四半期（当期）純利益

(百万円)
■ 第2四半期 ■ 通期



1株当たり四半期（当期）純利益*

(円)
■ 第2四半期 ■ 通期



*当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、第46期は期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期（当期）純利益を算定しております。